



増え続ける

脆弱性対応

9割削減

脆弱性管理のプロセスを徹底的に自動化

## よくあるお悩み

## 膨大な脆弱性

毎日増え続け  
情報収集だけで手一杯・・・

## 優先順位付け

殆どが重要扱いで  
どこから手を付けるか分からぬ

## バラバラな管理

システムごとに管理が違い  
全社の状況が誰もわからないFutureVulsなら  
すべて解決！

## 自動で検知・情報収集



## 自動でリスク評価・優先順位付け



## ダッシュボードで一元管理

## サービスの特長

### ✓ 脆弱性の検知や情報収集を自動で実施

システム構成情報の収集から、脆弱性情報の検知、運用者への指示までの一連の工程を自動化でき、対応コストを削減した脆弱性管理を行えます。



### ✓ リスクベース (SSVC) で対応判断を自動化

検出した脆弱性の「リスク=脆弱性×脅威×資産重要度」を考慮して、国際的なフレームワークSSVCに基づいて対応レベルを4段階に決定します。自動で優先順位付けができ、専門家なしで円滑な脆弱性管理を実現できます。



### ✓ あらゆるシステムの脆弱性情報を一元管理

資産と脆弱性、対応履歴等の情報が一箇所に集約され、把握が容易になります。幅広い環境やシステムに対応しているためどのようなケースにも適応できます。



### ✓ 大規模な組織でも安定した運用が可能

複数組織を横断した管理を可能とする機能や、他ユーザーと情報共有が可能なタスクコメント機能など、大規模な環境でも円滑な運用を実現できる機能を揃えています。



#### 主な機能

- 資産管理
- 脆弱性検知
- チケット管理
- リスク評価
- コミュニケーション
- SBOM管理

